

28 施設介護サービスについて知りたい



介護施設はどのくらいの費用でどこまでサービスが受けられるのかよく分からず不安です。自分の子どもに負担が重くのしかかるのではないのでしょうか。

[50代]



介護施設の種類によって目的や入居基準は異なります。種類ごとの違いと大まかな費用を確認したうえで、目的に合った介護施設を探しましょう。



介護施設の種類について

介護施設といってもさまざまな種類があります。大きく分けると公的施設と民間施設がありますので、それぞれの特徴を確認しましょう。

公的施設(主に国が運営)	民間施設(主に民間企業が運営)
<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設と比較して費用が安い傾向があります。 ・要介護度の高い人の入居が優先となるため、入居待機期間が長い傾向があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に数多く存在しており、レクリエーションなどの介護以外のサービスも充実している場合が多いです。 ・公的施設と比較して費用が高額になる傾向があります。

公的施設について

公的施設は主に4種類あり、施設によっては医療設備が伴った場所もあります。入居期間に制限がある施設もあります。 ※以下、厚生労働省の各種資料を参照。

介護が必要な場合

ケアハウス	特別養護老人ホーム (特養、介護老人福祉施設)
<ul style="list-style-type: none"> ・要介護度の低い人でも入居可能です。 ・健康状態の悪化によっては施設退去を求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ施設で終身利用が可能です。 ・原則「65歳以上で要介護3以上」の方が入居対象です。

介護と医療が必要な場合

介護医療院	介護老人保健施設(老健)
<ul style="list-style-type: none"> ・医療も含めた長期的利用が可能です。 ・施設数が少ないため、近隣に入居可能な施設がない場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護医療院と比較すると全国に多く存在しています。 ・日常生活に復帰するための施設なので、入居期間に制限(原則3カ月)があります。

民間施設について

民間施設は主に4種類あり、施設やサービス内容もさまざまです。介護を必要としない方が入居できる施設もあるため、介護保険が一部適用されない施設もあります。

介護を必要とする人向けの施設

介護付き有料老人ホーム	グループホーム
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の要介護状態に合わせて、生活支援や介護サービスを提供している施設。 ・原則要介護認定者が対象です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方が集団生活をおこなうための施設。 ・少人数制のため入居待機期間が長い傾向があります。

介護を必要としない方も入居可能な施設

サービス付き高齢者向け住宅	住宅型有料老人ホーム
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けサービスが付随している住宅。 ・サービス内容は住宅によって異なり、要介護度に適したサービスを受けられない可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援などのサービスを提供するため、介護を必要としない方も入居可能です。 ・介護サービスの提供はなく、必要な場合は外部の事業者と契約を締結する必要があります。

介護施設の費用について

介護施設選びに迷った場合は、地域包括支援センター(→ **3**)やケアマネジャー(→ **13**)に相談するほか、口コミなども参考になる場合があります。費用は公的施設と民間施設で異なりますが、さらに施設によって月額費用に含まれるものが異なる点にも注意しましょう。

公的施設	民間施設
月額費用は7万円~20万円程度 <small>※ケアハウスでは入居時の一時的な費用が発生する場合があります。</small>	月額費用は10万円~30万円程度 入居時の一時的な費用は15万円~500万円程度